

令和2年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

令和3年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、令和2年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（令和2年度末現在）

職　名	氏　名
教育長	吉　岡　喜代和
教育長職務代理者	野　木　三　司
委員	久　下　多賀子
委員	田　村　浩　章
委員	安　達　京　子

目 次

○自己点検・評価について

○教育に関する学識経験者の意見

I 教育委員会の活動状況	
1. 教育委員会の開催状況 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······	1
2. 教育委員会委員の主な活動 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······	5
II 施策評価・進捗管理調書	
【重点目標 1】就学前の子どもの教育・保育環境を充実します ······ ······ ······ ······	6
① 就学前教育の環境整備	
② 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化	
【重点目標 2】確かな学力・生き抜く力を育みます ······ ······ ······ ······ ······	16
① 小中一貫教育の推進	
② 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	
③ 確かな学力の育成	
④ 社会を生き抜く力の育成	
【重点目標 3】子どもを健やかに育む教育環境を充実します ······ ······ ······ ······	31
① 子どもの安全・安心の確保	
② 学校施設環境等の整備充実	
③ 個に応じた支援体制の充実	
④ ボランティアによる学習支援の推進	
⑤ 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進	
【重点目標 4】豊かな人間性・社会性を育みます ······ ······ ······ ······ ······	50
① 人を思いやり、尊重する社会性の育成	
② 生徒指導体制、教育相談体制の充実	
③ 家庭・地域の教育力の向上	
④ 文化芸術を通じた豊かな感性、情緒の育成	
【重点目標 5】生涯にわたる豊かな学びを支援します ······ ······ ······ ······	63
① 生涯学習の体制づくり	
② 人権教育の推進	
③ 社会教育施設等の整備充実	
【重点目標 6】歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます ······	78
① 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	
② 地域の文化財の総合的な保存と活用	
③ 資料館施設等の整備充実	
④ 文化芸術活動の推進	
【重点目標 7】たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します ······	87
① 健康な体づくり	
② 食育の推進	
③ 地域スポーツ活動の推進	
④ 競技力の向上	
⑤ 社会体育施設等の整備充実	
⑥ スポーツ観光のまちづくり	
III 学校評価自己評価	
学園毎評価・学校評価自己評価	
1. 学園小中一貫、こども園、学校評価自己評価報告一覧 ······ ······ ······ ······	99
2. 学園小中一貫教育報告書 ······ ······ ······ ······ ······ ······ ······	102
3. 学校評価自己評価報告（こども園、小・中学校） ······ ······ ······ ······	128

自己点検・評価について

令和 2 年度の教育活動を振り返って

令和 2 年度の教育行政は、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策を推進してきました。

令和元年度から 2 年度にかけての新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校の一斉臨時休業や行事などの延期や中止を余儀なくされましたが、行事の規模縮小など感染対策に努めながら教育活動を進めました。

平成 28 年度より全市展開となりました京丹後市の最も大きな教育振興策である「小中一貫教育」は、令和 2 年度から「保幼小中一貫教育」と名称を変更し、「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、6 つの学園が特色を生かしながら、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指す教育活動に取り組みました。

今年度は、令和元年・2 年度「ICT 活用による授業改善推進校」である久美浜学園の研究・実践を発信する京丹後市教育フォーラムを実施しました。新しい学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を、ICT 活用による学園全体での系統的な研究成果を市内に広めることができました。

子育て支援関係では、令和 2 年度から公営の保育所、幼保連携型認定こども園で保護者の負担軽減、更には児童の食育のために、副食に加え主食を提供する完全給食を実施しました。また、放課後児童クラブは継続して 10 か所開設し、子どもたちの安全・安心な放課後の健全な育成に取り組むとともに、市内 1 か所で 11 月から日曜日・祝日の運営を開始しました。市内 8 か所に設置している子育て支援センターでは、子育て相談・交流・ふれあいの場として、身近な地域で子育て支援を実施している一方、網野地域子育て支援センターでは、旧保育所を活用し、登録者のクラス分けをすることなく自由に利用できる環境を整備し、子育て支援の充実を図っています。

学校教育関係では、学校再配置の取組みとして、平成 31 年 4 月の「丹後小学校」開校をもって、京丹後市学校再配置基本計画の期間内における小・中学校の再配置がすべて完了したことから、再配置を行った全学校区の地域・PTA の代表者等から聞き取りを行い、事業の効果・検証としてまとめるとともに、次の 10 年間の計画策定について取り組みました。また、語学力の向上及び国際的視野を持った人材の育成を目的に、平成 28 年度から取り組んでいる「中学生海外派遣事業」は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により現地派遣は中止となりましたが、他国の文化や言語に触れ国際的視野を持てるよう「オンラインホームステイ」を実施し、

13人の生徒それぞれがオンラインによりニュージーランドホストファミリーと交流を深めながら貴重な成果等を得ることができました。学習環境の整備では、網野南・久美浜・かぶと山小学校の3校のトイレ洋式化事業が完了するとともに、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、中学校特別教室空調設備設計業務に着手するなど教育環境の整備に努めました。また、国のGIGAスクール構想に基づき、全小中学校に高速校内LAN環境を整備するとともに、児童・生徒・教職員に1人1台のタブレット端末を配備しました。さらに、未整備であった小学1・2年教室へ電子黒板を設置し、小・中学校の全普通教室及び特別支援教室へ電子黒板の整備が完了しました。併せて、授業支援システムやドリルシステムの導入により、整備した機器を有効に利活用できる環境を整えました。今後はGIGAスクール構想の実現に向けたICT環境の利活用を着実に実施することとしています。

社会教育関係では、3年目として「京都府アーティスト・イン・レジデンス事業」に取り組み、市内の自然・歴史・文化の資源を活用して制作した現代アートの作品展を開催し、文化芸術を活かしたまちづくりにつながっていくことを期待します。また、丹後地域公民館の耐震改修と「海のみえる丹後図書室」の移転整備が完了しました。社会体育関係では、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年東京オリンピック・パラリンピックが延期となった一方、ホストタウン事業として久美浜湾カヌーセンターの整備をはじめ、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の関連事業を実施したほか、スポーツ競技力の向上や大規模なスポーツ大会誘致によるさまざまな効果を目指すため、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場の日本陸連第3種公認に向けたリニューアル整備が完了しました。今後も引き続き「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の基本理念である「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」の実現に向け多面的なスポーツ施策の展開を図ることとしています。

文化財保護関係では、網野銚子山古墳の整備に向け、市史跡整備検討委員会及び文化庁等の指導を受け、実施設計及び工事を実施しました。また普及啓発の拠点施設の一つである丹後古代の里資料館の空調設備等の改修工事を実施しました。

このように、令和2年度は、保幼小中一貫教育の推進、子どもの放課後対策や子育て支援、学校再配置の取組み、国際交流事業の推進、学習環境の整備、スポーツ振興の推進、施設の改修整備など本市の懸案となっている課題の解消に向けてさらなる取組みを進めてきました。本市教育振興計画の「京丹後市が目指す教育」の達成に向け、今後もさまざまな教育活動を推進していきます。

令和3年11月

京丹後市教育委員会

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 玉川大学教育学部教授
氏名 寺本 潔
令和3年10月21日（評価を行った日）

2 序論

京丹後市『令和2年度 教育委員会活動の点検及び評価報告書』（185頁）を拝読し、委員会の開催状況や7つの重点目標、学校評価自己評価などに関して点検した。教育委員会会議は毎月1回の定例会のほか臨時会を併せて合計21回開催され、丁寧な審議が行われている。施策の進捗状況の評価では「〇」評価がほとんどであり確実な施策の進捗がみられる。重点目標4「豊かな人間性・社会性を育みます」の施策の中で、家庭こども相談室事業が予算の執行率50%にとどまっており、より一層適切で迅速な支援が期待される。また、重点目標6の歴史文化や文化財保護と活用等に関しては、文化財事業への参加者数と資料館・文化館入館者数が平成25年度と比較してかなり減少しており、令和6年度目標値達成は困難なのが危惧される。高齢者も趣向が多様化しつつあり、企画等に工夫が一層求められると共に若年層の利用者も増やす努力が必要と考えられる。保育所の再編や認定こども園の運営、保幼小の一貫したカリキュラム策定なども進められており、子育て環境の一層の整備が期待される。自立・協働・創造の理念に立った本市の教育振興計画は、文科省の新学習指導要領にも素早く対応した内容であり、教育環境の整備や実際の授業づくりに期待が持てると思った。

重点目標6にも関わるが、シビックプライドの醸成やキャリア教育としての「丹後学」の積極的展開、並びにジオパーク学習は今後の観光振興とSDGsな地域の創り手づくりにも寄与するため、注目したい。人口減少と超高齢化する地域では、着地型観光を生涯学習と絡め地元で起こし市民自身の自然や歴史文化への関心を高めることは重要である。『令和2年度京丹後市の教育』p13に記されている教育費予算（令和2年度）は、元年度に比べ増加しており、教育のデジタル化に対応した積極性を感じ評価できる。保育環境の充実や保幼小中一貫教育の推進、学校トイレ洋式化事業、文化・芸術活動、丹後学を介したふるさと意識の醸成、スポーツを軸にした健やかな体づくり等は日本海に面した自治体として実によく取り組んでいる。コロナ後には社会のニーズの変化が予想されるため、それを汲み取った力点の置き方を工夫し、目標値を定めて取り組まれることを期待したい。

3 本論

① 教育委員会議の開催状況等

前述したように毎月1~2回程度開催され、臨時会も合わせて合計21回の開催に至っている。8、9月や2月、11~3月がどうしても開催数が多く、審議の一層の効率化を進めることが大事である。各種イベント後援の承認案件や規則・要綱の一部改正、委員の委嘱などが案件で多いが、今後とも報告事項の精選と共に、子育て支援施策や体力・学力向上、文化振興など、より本質的な課題に審議の時間を割くよう努力されることを望みたい。

② 事務事業評価

序論で触れたように、概ね進捗状況は良好である。施策評価・進捗管理調書と附属資料を点検したが、心配される点は見出せなかった。コロナ禍の中にあって中学生海外派遣事業の代替としてオンラインホームステイを試みた点は高く評価できる。児童生徒の視野の拡大や国際性の涵養は次世代育成に不可欠である。

事務事業に関しては、書式もよく整理されており特に問題は見出せない。施策評価・進捗管理

調書（内部評価結果）に関しても、PLAN,DO,CHECK,ACT 方式による書式が統一され、判別しやすい。進捗状況の評価や、各事業ごとの評価・課題欄の記載も〇評定が多く、文章による記述も明確で、把握しやすい。予算の執行率もコロナ禍の影響もあってか、保健体育総務一般経費の執行率が 19.7%で低調であったものの、ほとんどの事業が 90%台を確保され着実に施策が進められている。なお、各重点目標に関わる事業の決算額と最終予算額、不用額、執行率が整理され客観的に事業の進捗を把握しようと努力する姿勢が感じられ高く評価できる。また、山陰地方での大雨被害も生じたことから、京丹後市においても自然災害の防止の取組は重要度を増している。令和 3 年度から使用の中学校の検定教科書（社会や理科、家庭科）では防災内容が充実しているため、合同の避難訓練に加え、地域や家庭と連携し自助・共助の力を高める防災教育のさらなる充実を求めたい。

③ 学校評価

「学校評価自己評価」を点検した。「保幼小中一貫教育の具体的な内容と評価」と「今年度の成果と課題 改善方策」が文章により明確に整理されている。多くの学校においてロイロノートの活用研修が実施され、情報モラルについての出前授業や GIGA スクール構想に基づくタブレット導入への対応など各校で改善に向け努力されている様子が読み取れる。単に、印象的記述に留まらず、課題や方針が明確に分かるように書かれている。少ない予算を切り詰めながらも教育の向上に向けて京丹後市の教職員全員で努力されている様子が伝わる点は高く評価できる。

④ その他教育活動

「第 2 次京丹後市スポーツ推進計画」（平成 30 年度から令和 9 年度）が策定され、「市民が楽しみ、ともにつくるスポーツのまち」づくりが推進されている。ライフステージに応じたスポーツ施策は重要であり、高齢者のいきがい創出にもつながる。東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会が無事に開催されたが、「スポーツ振興によるまち起こし」は有望である。とりわけ、スポーツボランティア登録者を増やす点には前向きな回答が得られており、健康増進や生きがいに大きな役割を果たすことが予想される。また、急なオンライン授業対応などが今後も求められることも予想され、さらなる ICT 環境の整備を進めてほしい。また、各教科書会社作成の各科デジタル教科書も教員の教材開発の負担を減ずる効果があるため購入が必須である。

『京丹後市子ども読書活動推進計画第三次推進計画』も拝読したが、市立図書館の蔵書整備が充実している割には子どもの貸出冊数が伸び悩んでいる。学校図書館の充実と相俟って読書習慣の啓発は大事である。

4 総括

報告書類の書式が統一され、今年度も各種資料は見やすく整理されている。令和 2 年度から「保幼小中一貫教育」と名称を変更し「横の連携」を一層重要視された施策は大変心強い。国レベルでも新学習指導要領がコンピテンシー・ベースの能力育成に加え、「社会に開かれた教育課程」とカリキュラム・マネジメントが強調されており、教職員の力量向上と一層の「開かれた学校づくり」に邁進してほしい。

5 総合評価（意見等）

総合評価として、教育委員会活動として適切な事業運営に努めていると高く評価できる。子育て支援では公立保育所・幼稚園の再編や認定こども園への移行が目指され、安心して子どもを産み育てる自治体となっている。特別支援教育でもスクールソポーター配置制度の一層の運用・利活用が期待される。また、SDGs が話題になる昨今、探究的な学びの充実による学力が注目を集めている。キャリア教育としての「丹後学」にも期待したい。

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授
氏名 竹沙 知章
令和3年10月20日（評価を行った日）

2 序論

令和2年度では、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策が推進されてきた。京丹後市の将来を見据えた施策が展開されている。

また新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、政府の要請もあって、休業措置が実施されるなど、その対応に追われた1年であったと思う。

本意見書では、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」（以下、「報告書」）を主として分析し、教育委員会会議や総合教育会議の議事録も参照しながら、中長期的な視点から策定されている京丹後市の教育振興計画の基本理念がどのように実現されようとしているか、その視点から意見を述べるとともに、新型コロナウイルス感染症への対応について、適切に点検評価がなされているかという視点からも意見を述べることにしたい。

3 主な施策等の成果と課題

（1）教育委員の活動について

コロナ禍で制約がある状況においても、教育委員会会議、管内視察、研修会など教育委員として必要な活動が活発に適切に展開されていたと評価することができる。

教育委員会会議では、重要な議題に関して、活発な意見交換がなされていた。特に教育振興計画の進捗状況について、活発な協議がなされており、現状と今後の見通しについて重要な意見交換がなされていたと思う。また中学校の教科書採択について、各委員がその意見を述べられて、よく勉強されたうえで意思決定されていたと感じた。

管外視察は残念ながら中止となつたが、たとえ、現地訪問できなくとも、インターネットを通じて情報収集し、他地域の取組みを学ぶことは可能であろう。現地訪問の制約がある場合でも、その目的を達成するやり方を工夫して、今後も取り組んでいただきたい。

また10月に開催された総合教育会議では、いじめの問題が議題となっており、かなり時間をかけて、ていねいに協議がなされていた。それにより、いじめについての理解が深まった印象を受ける。コロナ禍の影響が今後出てくる可能性もあり、引き続き、しっかりと取り組んでいただきたい。その他、茨城県の資料を参考しながら、中高一貫教育について議論されたことも注目される。一貫校を創設することは難しいかもしれないが、市内にある府立高等学校との連携を深めていくことは重要なことであるので、今後も検討していただきたいと思う。

（2）重点目標に関する活動について

1) 保幼小中一貫教育の推進について

平成28年度より全市展開されてきた「小中一貫教育」が、令和2年度より「保幼小中一貫教育」と名称変更され、正式に、就学前から中学校までの10年間を一貫した教育を進める体制が整えられた。一層、市全体での体系的な教育を実施する体制が整えられたと言える。各学園の自己評価は、いずれも非常に充実しており、活動内容、成果と課題、改善方策が詳細に記載されている。こうした報告書を作成するためには、学園全体で協議を行うことが必要であり、保幼小中一貫教育が定着し、一つの学園として教育活動をしていると評価することができる。また各学校園の自己評価もきちんと行われており、各学校園も学園体制の中でそれぞれが適切に教育を進めていることがうかがえる。

コロナ禍の子どもへの影響、教育への影響が心配される中で、多くの学校園でそのことが

明記されており、適切な点検評価がなされていると言える。コロナ禍の制約の中でも、工夫しながら取組みを進めているところもあり、成果を上げている点も注目される。今後もそのような状況が続くことが予測されるので、現状をしっかりと分析しながら、創意工夫しながら実践を進めていっていただきたい。

2) 生徒指導体制、教育相談体制の充実について

いじめの認知件数、認知率は、令和2年度では、令和元年度と比べて、小中学校ともに減少している。ただこの件数、認知率の増減だけで、いじめの実態を判断することは適切ではないであろう。どのような経験を子どもはいじめと認識しているのか、教職員はそのような事象に気がついていたのか、アンケートではなく直接、教員が相談を受けていたのか、様々な状況を踏まえて、いじめの実態について分析し、判断していくことが大切であろう。教職員の児童生徒理解の質が問われると思う。解消率も高い数値となっているので、指導は適切になされていると評価することはできる。

不登校については、出現率についてみると、中学校では昨年より減少し、小学校では昨年より増加している。いずれも計画作成時よりは増加していることから、目標達成に向けた取組みは重要である。各学校園の自己評価において、不登校への対応について、多くの学校で記述がみられるので、点検評価を行いながら、適切に取組みがなされていると評価できる。

コロナ禍のために社会全体に閉塞感が広がっているように感じられる。そうした状況において、子どもだけでなく、大人にもじわじわとした影響が生じていることも考えられる。それだけにいっそうていねいに、敏感に子どもの変化をキャッチし、受け止めることが大切になると思う。学園全体でそのような意識で子どもへの対応を進めていっていただきたい。

3) 生涯にわたる豊かな学びの支援について

重点目標5の施策の進捗状況の評価では、「少し遅れている」が以前から何年も続いていることが気にかかる。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものと思われる。どのように改善を図っていくのか、今後の施策展開の考え方において検討されるべきではないだろうか。

(3) 今後の課題について

新学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」、そして中央教育審議会答申において「令和の日本型学校教育」として「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実が提起された。ICTの活用を図りながら、こうした新しい学びの構築を進めることにより、京丹後市が取り組んでいる保幼小中一貫教育の発展を図っていくことが必要であろう。

4 総括

新型コロナウイルス感染症にも適切に対応しながら、保幼小中一貫教育を核として、着実に取組みがなされ、成果が上がっていると評価できる。「少し遅れている」という目標もいくつか見られたが、教育振興計画に基づきながら、新たな状況の変化にも対応し、適切な取組みが展開されている。

5 総合評価

教育振興計画に基づき、事業を適切に整理され、着実に各事業を実施しながら、その点検評価も適切に行われている。ただ、令和2年度より、新学習指導要領の実施、「令和の日本型学校教育」の推進、GIGAスクール構想の具現化のためのICT機器の整備など新たな施策が矢継ぎ早に推進されている。新型コロナウイルス感染症拡大も教育振興計画策定時には想定されていなかった事態である。こうした新たな現象、課題をどのように計画の中に位置づけ、その取組みの点検評価を行うか、整理することが必要であると思う。部分的には確認できるが、大きなテーマであることを考えると、既存の目標と関連づけて、取組みを行い、点検評価を進めることが必要ではないかと思う。

I 教育委員会の活動状況

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（令和2年4月～令和3年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、令和元年度は合計21回開催しました。

(1) 教育委員会定例会… 12回

(2) 教育委員会臨時会… 9回

○令和2年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和2年4月3日	4月定例会	28	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について
		29	京丹後市指導主事等服務規程の廃止について
		報告4号	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		報告5号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
		報告6号	京丹後市立こども園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について
		報告7号	京丹後市子ども未来まちづくり審議会委員の委嘱について
		30	京丹後市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する規則の制定について
		31	京丹後市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針について
		32	専決処分の承認について（京丹後市中学生海外派遣事業参加費補助金交付要綱の一部改正について）
令和2年5月1日	5月定例会	33	京丹後市図書館協議会委員の任命について
		34	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
		報告8号	京丹後市立学校評議員の委嘱について
		報告9号	京丹後市社会教育委員の委嘱について
		35	京丹後市たしばな会館条例施行規則の一部改正について
令和2年6月1日	6月定例会	36	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		37	京丹後市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		38	京丹後市指定文化財の指定の解除に係る諮問について
		39	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		報告10号	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について
		報告11号	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について
		報告12号	公文書非公開決定に係る審査請求について
		40	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和3年6月1日	6月定例会	41	令和2年度京丹後市小町ろまん全国短歌大会の開催に係る後援について
令和2年6月19日	6月臨時会	42	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について
		43	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について
		44	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例施行規則の一部改正について
		45	京丹後市立保育所及び認定こども園延長保育事業実施要綱等の一部を改正する要綱の制定について
		46	京丹後青年会議所アートプロジェクト「みんな知ってそうで 誰も知らない音」の開催に係る後援について
		報告13号	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		報告14号	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
		47	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
令和2年7月8日	7月定例会	48	良質な音楽による子どもの豊かな情操教育及び自己実現を支援する活動に係る後援について
		報告15号	京丹後市教育振興計画進捗管理について
		報告16号	京丹後市丹後地域公民館耐震改修等工事（建築主体工事）請負契約の締結について
令和2年8月3日	8月定例会	49	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館の指定管理者の指定について
		50	欠番
		51	令和2年度京丹後市文化協会小さな発表会配信事業の開催に係る共催について
		報告17号	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
		報告18号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
		報告19号	行政財産の用途廃止について
		52	京丹後市立学校体育施設等の利用等に関する条例施行規則及び京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
		報告20号	京丹後市情報公開・個人情報保護審査会による答申について
令和2年8月20日	8月臨時会	53	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について
		54	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について
		55	田中彩子モノオペラ「細川ガラシャ」京丹後公演の開催に係る後援について
令和2年8月27日	8月臨時会	56	令和3年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
		57	令和3年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
令和2年9月1日	9月定例会	58	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
		59	京丹後市立学校臨時休業対策費補助金交付要綱の制定について
		60	京丹後市指定文化財の指定について
		61	京丹後市指定文化財の指定の解除について
		62	2020年度北丹陸協記録会（第1回・第2回）の開催に係る後援について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和2年9月1日	9月定例会	報告21号	令和元年度峰山途中ヶ丘公園陸上競技場改修工事請負契約の変更について
令和2年9月23日	9月臨時会	報告22号	財産の取得について《京丹後市立小中学校タブレット端末等コンピュータ物品》
		報告23号	財産の取得について《京丹後市立小中学校電子黒板》
		報告24号	財産の取得について《京丹後市立中学校高速カラー印刷機》
令和2年10月1日	10月定例会	63	京丹後市立学校ハラスメント防止要綱の一部改正について
		64	京丹後市立図書館条例施行規則の一部改正について
		65	(一社)京丹後市青年会議所 創立55周年記念事業「教育をテーマとした番組の配信」の開催に係る後援について
		報告25号	公文書の存否を明らかにしない決定及び個人情報不開示決定に係る審査請求について
令和2年11月2日	11月定例会	66	京丹後市特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者及び特定子ども・子育て支援施設等の確認等に関する規則の一部改正について
		67	令和元年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
		68	未来を背負う京丹後の子ども達に光のクリスマスプレゼントの開催に係る後援について
令和2年11月16日	11月臨時会	69	京丹後市久美浜湾カヌーセンターライセンス制度の制定について
		70	京丹後市久美浜湾カヌーセンターライセンス制度施行規則の制定について
		71	「作曲家・平野一郎の世界2021 海の聲 vox maris ～ほろびても滅びえぬもの～”丹後印象派”福岡清の絵画と共に」の開催に係る後援について
令和2年12月1日	12月定例会		議事なし
令和2年12月16日	12月臨時会	報告26号	京丹後市情報公開・個人情報保護審査会による答申について
令和3年1月4日	1月定例会	1	京丹後市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
		2	京丹後市青少年スポーツ協会補助金交付要綱の制定について
		3	令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について
令和3年2月1日	2月定例会	4	令和3年度「学校教育指導の重点」について
		5	令和3年度「社会教育推進の重点」について
		6	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会設置要綱及び京丹後市学校教育連携専門部会設置規程の一部改正について
		7	京丹後市立学校ハラスメント防止等要綱の一部改正について
令和3年2月17日	2月臨時会	8	令和3年度教育委員会関係予算について
		9	京丹後市文化芸術振興審議会条例の制定について
		10	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		11	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業保育料徴収条例の一部改正について
		12	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について
		13	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
		14	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和3年2月17日	2月臨時会	15	京丹後市高等学校全国募集入学生応援補助金交付要綱の制定について
		16	京丹後市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の制定について
		17	教育委員会事務局職員の処分について
令和3年3月1日	3月定例会	18	令和3年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		19	京丹後市学校施設の長寿命化計画の策定について
		20	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		21	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		22	京丹後市立学校共同学校事務室運営規程の制定について
		23	京丹後市子育て環境支援設備整備事業補助金交付要綱の制定について
		24	京丹後市立認定こども園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
		報告1号	京丹後市丹後地域公民館耐震改修等工事請負契約の変更について
		25	京丹後市教育委員会教育長の辞職の同意について
令和3年3月12日	3月臨時会	26	令和3年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		27	京丹後市久美浜湾カヌーセンターライセンス条例施行規則の一部改正について
		28	京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の制定について
		29	京丹後市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部改正について
		報告2号	公文書部分公開決定に係る審査請求について
令和3年3月24日	3月臨時会	30	令和3年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		31	京丹後市臨時休園等に伴う保育料等の特例に関する規則の一部改正について
		32	京丹後市立小中学校通学用ヘルメット購入費補助金交付要綱の一部改正について

2. 教育委員会委員の主な活動

(1)管内視察実施状況 7回(峰山途中ヶ丘公園陸上競技場、網野こども園、清新高等学校、峰山放課後児童クラブ、高龍小学校、峰山中学校、旧海部小学校)

所管施設を訪問し、各施設の参観や職員と懇談の中で、教育委員会の施策が十分反映されているか、今課題となっている事項等状況把握に努めました。

(2)管外視察実施状況 なし

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、令和2年度の管外視察研修は中止

(3)教育委員協議会開催状況 4回

京都府立丹後緑風高等学校(網野学舎)の支援について

定住促進・負担軽減型の奨学金制度について

京丹後市学校適正配置基本計画案について

京丹後市学校施設の長寿命化計画(案)について

(4)総合教育会議 1回

京丹後市いじめの現状及び令和3年度当初予算編成における検討事項等について市長と協議・意見交換を行いました。

(5)各種研修会・視察の参加 2回

京都府教育委員会連合会等が主催する研修会等にオンライン参加を含め積極的に参加し、教育行政の諸課題について情報提供を受けました。

月	月 日	件 名	場 所
4月	2. 4. 4	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
	2. 4. 6	市内こども園入園・進級式	市内各認定こども園
	2. 4. 7	市内小学校入学式	市内各小学校
	2. 4. 8	市内中学校入学式	市内各中学校
7月	2. 7. 8	教育委員任命通知書交付式 (田村 浩章委員)	京丹後市役所
	2. 7. 22	第2回丹後地区教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
	2. 7. 29	第3回丹後地区教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
8月	2. 8. 7	第4回丹後地区教科用図書採択地区協議会	京都府宮津総合庁舎
10月	2. 10. 3	京丹後市峰山途中ヶ丘公園「京丹後はごろも陸上競技場」リニューアル完成式典	京丹後市峰山途中ヶ丘公園
	2. 10. 17	京丹後市小学校駅伝競走大会	丹後王国「食のみやこ」
	2. 10. 30	海のみえる図書館 ”丹後図書室” 移転オープニングセレモニー	丹後図書室
11月	2. 11. 1	令和2年京丹後市成人式	京都府丹後文化会館
	2. 11. 12	令和2年度京丹後市教育フォーラム 研究主題『主体的に学ぶ力を伸ばすための、ＩＣＴを活用した授業づくり』	京丹後市立久美浜中学校
	2. 11. 16	丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 演題『G I G Aスクールの推進について』 講師 京都府教育庁 指導部長 山口 隆範氏	宮津市福祉・教育総合プラザ
12月	2. 12. 15	令和2年度いじめ防止講演会 テーマ『子どものいじめに大人としてどうかかわるか』	アグリセンター大宮
	2. 12. 23	令和2年度市町村教育委員会オンライン協議会 (ZOOM開催) 分科会テーマ「第1分科会：教育の情報化について」「第2分科会：いじめ・不登校支援について」「第3分科会：地域と学校の連携協働について」	大宮庁舎
3月	3. 3. 12	京丹後市立中学校卒業式 (規模縮小)	市内各中学校
	3. 3. 21	令和3年京丹後市成人式	京都府丹後文化会館
	3. 3. 23	京丹後市立小学校卒業式 (規模縮小)	市内各小学校
	3. 3. 24	京丹後市立認定こども園卒園式 (規模縮小)	市立各認定こども園
	3. 3. 27	京丹後市立保育所修了式 (規模縮小)	市立各保育所